

大阪大学蛋白質研究所セミナー 蛋白質に挑戦する化学

2023年3月2日～3日
開催場所: 蛋白研1階講堂

3月2日(木)

- 13:00 - 13:05 所長挨拶
- 13:05 - 13:10 はじめに 吉矢 拓 | (株) ペプチド研究所
- 13:10 - 13:45 抗体親和性リガンドを使った部位特異的修飾による高機能性抗体の創出 伊東 祐二 | 鹿児島大・理
- 13:45 - 14:10 光触媒を使ったタンパク質修飾法の開発と近接標識 佐藤 伸一 | 東北大・学際科学フロンティア研
- 14:10 - 14:35 脳内アミロイドタンパク質の除去を促進する化学触媒 相馬 洋平 | 和歌山県医大・薬学
- 14:35 - 15:00 ヒドラジドの反応特性を利用するペプチド・タンパク質合成法の開発 佐藤 浩平 | 静岡大・工
- 15:00 - 15:25 化学合成糖タンパク質を利用し糖鎖の水和機能を探る 岡本 亮 | 阪大院・理
- 休憩 (25分)
- 15:50 - 16:15 タンパク質化学合成における連続的ペプチド連結の新手法 林 剛介 | 名古屋大院・生命分子工
- 16:15 - 16:40 鏡像タンパク質を活用した創薬研究 大石 真也 | 京都薬科大学
- 16:40 - 17:05 蛋白質ライゲーション反応と特異的ペアリングによる二重特異性抗体の構築 真壁 幸樹 | 山形大院・理工
- 17:05 - 17:40 中外製薬の抗体最適化戦略 三瓶 全次郎 | 中外製薬(株)・バイオ医薬
- 18:00 - 19:30 懇親会*

3月3日(金)

- 9:30 - 9:55 膜タンパク質膜挿入に関わる糖脂質と基質タンパク質の相互作用 森 祥子 | サントリー生命科学財団
- 9:55 - 10:20 生体内利用を目指したルテニウム触媒-アルブミン複合体の開発 六車 共平 | 理研・田中生体機能合成化学
- 10:20 - 10:45 ヘテロクロマチンタンパク質 (HP1) の動的理解 末武 勲 | 中村学園大・栄養
- 10:45 - 11:10 天然物によるタンパク質間相互作用の調整とmRNA翻訳抑制 大神田 淳子 | 信州大・農
- 11:10 - 11:45 副反応が拓くペプチド・タンパク質化学-30年ぶりのリバイバル研究 大高 章 | 徳島大院・医歯薬学
- 11:45 - 11:50 おわりに 北條 裕信 | 阪大・蛋白研

*中止の可能性あり

世話人: 吉矢 拓(ペプチド研)・北條裕信(蛋白研)
連絡先: 北條裕信 Tel:06-6879-8601 E-mail: hojo@protein.osaka-u.ac.jp

参加費無料(懇談会有料)、事前登録不要

